

開 帳 の 記 録

回	貫	首	年	代	開帳種別	場 所	
1	中興第	1世	照範	元禄14年	(1701年)	1居開帳	自 寺
2	中興第	1世	照範	元禄16年	(1703年)	1出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
3	中興第	1世	照範	享保6年	(1721年)	1巡行開帳	下総国ほか
4	中興第	2世	快盛	享保11年	(1726年)	2巡行開帳	常陸・下野国ほか
5	中興第	3世	照朝	享保18年	(1733年)	2出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
6	中興第	5世	照峰	宝暦元年	(1751年)	3巡行開帳	江戸府内ほか
7	中興第	5世	照峰	宝暦12年	(1762年)	3出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
8	中興第	5世	照峰	明和元年	(1764年)	4巡行開帳	常陸・武蔵国ほか
9	中興第	6世	照乗	寛政元年	(1789年)	4出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
10	中興第	7世	照誉	文化3年	(1806年)	5出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
11	中興第	7世	照誉	文化4年	(1807年)	2居開帳	自 寺
12	中興第	7世	照誉	文化6年	(1809年)	6出開帳	匝瑳郡八日市場見徳寺
13	中興第	7世	照誉	文化11年	(1814年)	7出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
14	中興第	7世	照誉	文化12年	(1815年)	3居開帳	自 寺
15	中興第	8世	照胤	文政4年	(1821年)	8出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
16	中興第	8世	照胤	文政5年	(1822年)	4居開帳	自 寺
17	中興第	9世	照融	天保4年	(1833年)	9出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
18	中興第	9世	照融	天保6年	(1835年)	5居開帳	自 寺
19	中興第	10世	照阿	天保13年	(1842年)	10出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
20	中興第	10世	照阿	天保15年	(1844年)	6居開帳	自 寺
21	中興第	11世	照嶽	安政2年	(1855年)	7居開帳	自 寺
22	中興第	11世	照嶽	安政3年	(1856年)	11出開帳	深川永代寺八幡宮社寺
23	中興第	11世	照嶽	安政4年	(1857年)	8居開帳	自 寺

開帳の種類としては出開帳・居開帳・巡行開帳の三種類があります。

出開帳 (でがいちょう) は

深川永代寺八幡宮社寺 (10回) 匝瑳郡八日市場の見徳寺 (けんとくじ) の1回の合計11回

居開帳 (いがいちょう) は8回

巡行開帳 (じゅんこうかいちょう) は4回 江戸時代には全部で23回の開帳が行われた。

江戸時代には十一回の出開帳があったようですが、一回の出開帳で2,000両程の収入があったようです。今のお金にして2億円ぐらいか？

1701年に建立した光明堂の借金は一回の出開帳で返すことが出来たようです。又出開帳をすると、成田山への参詣者が少なくなり参道のお店の収入が落ちるので江戸時代後期には翌年居開帳を行い成田山への参詣者を多くして参道の店や旅館との共存共栄がはかられています。

成田山では坊入り膳にご飯をつけないのも参道の食事処への配慮です。また宿坊を作らない事も同様に旅館やホテルへの配慮のようです。